

# 再開発事業に関する調査特別委員会中間報告



**委員会メンバー** 向かって左から、  
 高橋 誠、仁木豊司、森下寛明、  
 勝山 修、◎末永弘之、○小栗興治、  
 木下健二、武本淑男、米井知博、  
 吉田耕造

表①

## その1、資金不正流用の調査内容

工事代など未払いは、69億9千6百万円です。その内容は

<b>熊谷組への未払い内訳</b>	<b>62億9千4百万円</b>
中央街区関係	34億4千8百万円
吹屋三街区関係	16億4千3百万円
その他（全体準備組合事務費など）	12億3百万円
都市設計コンサルタント未払い	2億7千7百万円
街づくり株式会社未払い	4億2千5百万円

その内で、県から指摘をされた

<b>「不正資金流用」</b>	津山商業開発㈱へ	15億2千3百万円
	津山中央開発㈱へ	4億5千6百万円
	権利者個人へ貸付	3億9千6百万円
	全体準備組合へ	6億1千2百万円
	商店街に出資金	5百万円
<b>29億9千2百万円</b>		

※正式な中間報告を要約してお届けしています。原本は議会事務局にあります。

★「不正流用」資金  
 のうち商業開発(株)  
 が十五億円です

元々商業開発は、昭和六十三年に「再開発区域内の土地斡旋などを行う」ことなど目的で作られています。が、地区内はもとより、地区外物件なども購入し、仮店舗設置費用や、仮居住の家賃集めなど多彩な事業に手を出しており、「不正資金流用の中心的な役割を果たしていた会社」との疑いはあります。

現在は「破産管財人の管理下」にあり、充分把握できませんが、まず、

①アリコベールしんぎのマンション購入費に六億三千八百八十八万一千円を使用しています。

当初、アリコベールの床取得費用として十一億三千九百五十二万一千円使用といわれていましたが、資産は六億三千八百八十八万一千円しかないことが判明し、当委員会として、再調査した結果、五億円の「資金があわない」ことが判明